



広報 **えびな**

昭和59年2月1日 第310号 発行・海老名市役所（〒243-04 海老名市 国分155 ☎31-2111代表）編集・秘書広報課

”
“
を出荷

市名産のひとつ、スイートピー ピンクを主体として白、黄などのかわいい花はもうすぐそこまで来ている春の使者。写真の深沢守さん宅（上郷）でも今、出荷の最盛期で、夕方4時過ぎに温室で深み取ったものを50本ずつの束にして夜6時～8時ごろ市場へ出荷します。その出荷作業は息子さん夫婦にお母さんも加わり、文字通り一家総出。多い時は1日6000本以上が春を告げに寒風吹きすさぶ街へ出発します。



市章

世帯と人口	
昭和59年1月1日	
世帯	26,758世帯 (+57)
人口	87,974人 (+262)
男	45,164人
女	42,810人

毎月1日・15日発行

今月のプロフィール



「長い人生のうちに、人間として、女として何か残したい」と思っています。

人生のあかしに

広崎さん(本郷)短歌集を自費出版

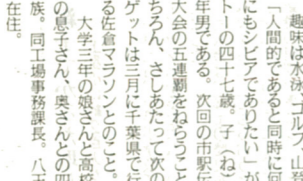


短歌四百五十首を集めた歌集「夕富士」を自費出版しました。



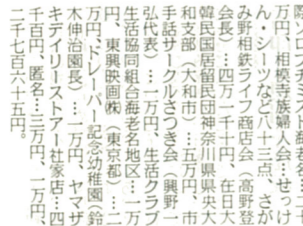
*スポーツ大好き人間。

社員全部が選手候補。市駅競走大会で四連覇。雪印乳業(株)厚木工場陸上競技部監督。



市長随想

心のゆとり。一月十四日、節分の日。みなさんのお正月も豆まきをなさったか。



善意のいずみ

善意のいずみ。市社会福祉協議会協賛銀行に次のみなさんが寄付がありました。

Table with 1 month price information (1月価格情報) listing various goods and their prices.

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て1月初めに調査した通常平均価格です。

情報コーナー

市民講演会 「考え方さまざま」 講師 曾野 綾子

鳥倉千代子ショー とき・3月11日(日)午後1時、4時の2回公演

募集 市消費生活モニター 消費者の意見や情報を広く収集し、消費生活行政に反映させるため

島倉千代子ショー とき・3月11日(日)午後1時、4時の2回公演

消費生活モニターを募集します 応募資格=市内在住の方

功労者を表彰

古式操法などの披露も



消防ポンプを使った古式操法を実演

一月十四日、市文化会館市民広場で消防初め式が行われ、長年消防員として活躍してきた島崎清さん(前原口、39歳)ら八十八人、初期消火などで消防に協力された八幡龍さん(中野、46歳)ら十八人、団体が表彰された。

寒い冬 路面凍結防止に協力を



怖い! スリップ!! 1月19日、15年ぶりの大雪。当市の積雪は16センチ。この日、スリップ事故で救急車が出動した回数は、4回。

市役所 ところ 〒243-04 海老名市国分155 もしもし 31・2111(代)

市長随想 帰りに、家族揃って食べたもの。当時は今よりたいがく寒かったです。

情報コーナー

相談 市民相談室 <2月の日程> 法律=8日(水)・23日(木)

相談 杉久保地区の道路測量を行っています。みなさんのご協力をお願いします。

市役所 ところ 〒243-04 海老名市国分155 もしもし 31・2111(代)

生活必需品交換情報 <譲ります>美美容自転車、和ダンス、おむつ乾燥機、マットレス、クリーンヒーター

相談 一般相談は電話でも受け付けています。33・4100番へ電話を。

市役所から 道路台帳整備にご協力を 現在、大谷・国分台・中新田・今里・

催しもの 図書館文学講座 一川端康成の人と作品研究

生活必需品交換情報 <譲ります>美美容自転車、和ダンス、おむつ乾燥機、マットレス、クリーンヒーター

フットピックス

各地でどんど焼き

一月十四日、どんど焼きが市内各地で行われたが、大谷八幡社では二十一人の若男、若女が、昔ながらの方法とんど焼きをしました。

同日地区では、道祖神を清め、しめ飾りやワラを使って、道祖神を囲むように社を作る、ことから始まります。社が完成するころには、さきどりの先に書き初め



大谷地区でも和やかに...



海西中生徒がジャンボどんど焼き

をつけた子供たちが集まって、社のお供えがすむといよいよとんど焼きの開始。

お飾りや門松が燃える火に乗って、書き初めが高く上がるほど、顔字がよくなるといわれ、一俵の高く上がったとんど焼きも見られました。

火勢が強まると、ナラの木にこけた「親玉」と呼ばれるたんこを焼き、薄茶の煙を避けるながら、世間話に花が咲き、これを食へて、カネどひかすに元気が

に暮らしましょう」と、焼き上がったたんどを交換し合って、各自家へ持ち帰りました。

また、海西中学校(亀井英一校長、生徒九百五十九人)でも全生徒・職員が参加してジャンボなとんど焼きが行われました。学年ごと正月飾りや書き初めを積み上げた山に火をつける、火勢は八、九メートルになり、各生徒が持ったたんこは数知れず、すべてがジャンボなとんど焼きでした。

親子でかるた取り

一月七日、上屋小学校で「親子ジャンボかるた大会」が行われました。

同大会は、郷土の歴史を榮しみなから知ってもらおうと昭和五十二年から始めたもので、新春の恒例行事として年々参加者も増加しています。



体ごと絵札に突進!

雪印4連覇を達成

有馬小前をスタートし、市役所にゴールする第十三回市駅伝競走大会が一月八日に行われ、今年には六十三チーム約五百人が参加し、五区間二十三キロ、二時間三十分を走り抜きました。

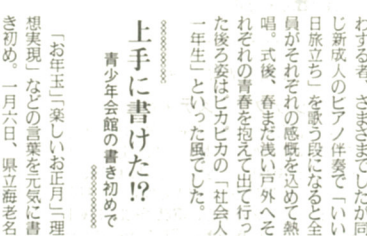
今年も雪印が四連覇を達成。また、自治会対抗の部では、上今泉チームが谷口寿人さん(上今泉四丁目、46歳)・康夫さん(親子)などの好走手をそろえて二連覇。中学校対抗の部と女子対抗の部では、大谷中陸上部がアベック優勝しました。(成績はスコア・ブックで「左上」)



大人への旅立ち

一月十五日、新成人の旅立ちを祝福する成人式が市文化会館ホールで行われました。

今年も千六百二十二人が成人式を迎えましたが、会場に参集した若者たちは、市長や来賓の祝福と励ましの言葉に真剣に



「いい旅立ちを熱唱

聞き入る者、うわの空でそわそわする者、さまざまでしたが同じ新成人のピアノ伴奏で「いい日旅立ち」を歌う段になると熱唱。式後、春まだ浅い戸外へそれぞれの青春を抱えて出て行った後の姿はヒカヒカの「社会人一年生」といった風でした。



二十八人が書き初めに挑戦

フットピックス

◇第13回市駅伝競走大会

▽自治会対抗の部(7チーム参加)

①大谷(台康夫、谷口哲人、沼田敏彦、加藤浩夫、高山信) 1時間10分

②分科(門沢隆、永山茂、旭久興、朝志田吉) 8分20秒

③野球B(重田貴己、榎田信義、1時間11分38秒)

④野球A(山口保、田村俊、飯島孝、野藤隆、山口保、飯島孝、1時間15分24秒)

⑤新設区(以下順次)

⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①大谷中陸上部(佐藤隆、鈴木敏彦、佐々木隆、岡部隆、高橋隆) 1時間13分18秒

②海西中陸上部(中野隆、鈴木敏彦、佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

③海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

④海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑤海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑥海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑦海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑧海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑨海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑩海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑪海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑫海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑬海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑭海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑮海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑯海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑰海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑱海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑲海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑳海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉑海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉒海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉓海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉔海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉕海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉖海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉗海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉘海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉙海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉚海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉛海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉜海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉝海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉞海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉟海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊱海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊲海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊳海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊴海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊵海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊶海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊷海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊸海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊹海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊺海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

フットピックス

12分15秒の日立産名工藤義、内田一男、石坂弘行、小林明夫、小栗忠一、1時間12分40秒

②海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

③海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

④海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑤海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑥海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑦海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑧海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑨海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑩海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑪海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑫海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑬海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑭海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑮海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑯海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑰海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑱海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑲海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

⑳海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉑海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉒海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉓海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉔海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉕海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉖海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉗海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉘海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉙海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉚海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉛海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉜海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉝海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉞海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㉟海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊱海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊲海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊳海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊴海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊵海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊶海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊷海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊸海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊹海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

㊺海西中陸上部(佐藤隆、岡部隆、高橋隆) 1時間14分01秒

フットピックス

園分学校は、明治六年、隣村小園の延命寺の地蔵堂を仮の校舎に充てて創立された。当時、果の行政区画による第十九区第四小区に属する園分、望地、小園、寺尾の四か村が学区で、小園に学舎を置いたのは、園分がほぼ中心地であったからである。

最初「園分学舎」と呼んだが、明治八年六月、名称改正によって初めて「学校」と称するようになった。冠称を園分としたのは行政区における政庁の中心が園分であったから、園分進出の副学長の武蔵臣氏氏が学校管理責任者になって、後に学区に区分があつて、学校は一時、園分寺の裏に移り、後また村社八幡社の神楽殿に教室を築いた。これで名実ともに園分学校となった。

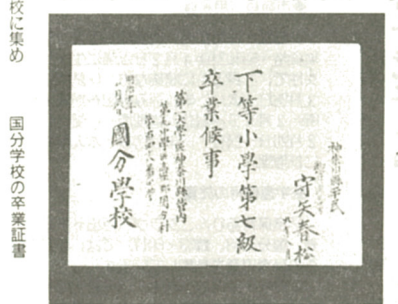
開校時の児童数は男五十二名、女十三名で、授業料は月三銭八厘徴収し、学費は無償で半数は坊主頭、残り半は坊主、坊主や五分別り、ちよんまけの者もいた。女子はおかむろ、おたは、ほん、引つめ、衣服は一律に手織木綿の制服、三尺帯・前垂掛。冬は絆太はんで、中には袖無(そでなし)も

あり、羽織はとく限られた者だけであった。天気の良い日はワラ草履で通った。学用品の石盤などは風呂敷包みにして通学した。

授業の開始には拍子木を鳴らして、児童は各自げた箱に履物をそろえたりで出入りには非常に混雑した。

初めは練習を禁じ、時間間を計ったが、ほどなく柱時計となった。授業中いたまは園分小学校として直立を命ぜられ、時には旧習によって練習と水泳を持たせられる者もいた。

修業年限は下等四年、上等四年でそれぞれ八級ずつの段階があった。春秋二回大試験が行われ、園分小学校が行われ、園分小学校の児童は近隣の学校と一緒に河原口の海老名学校に集め



下等小学第七級卒業候事

園分小学校

園分小学校の卒業証書